

幼児を対象にした食育デザイン

Food Education Design For Baby

関 可南子 指導教員 氏家 和彦

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 生活文化マネジメント研究室

生活する上でかかせない食。幼少期からの食育は豊かな生活を送るための糧となる。食育が効果的な幼児を対象に、子どもとその保護者で楽しみながら食材と対象を繋げるツールを考えていく。本研究は食材の成り立ち、どこでどのように育ち、調理され口に運ばれるのか、というプロセスを取り扱い、幼児が遊びながら学べるツールを提案し、食材に対して興味を持ち、豊かな生活への貢献を目的とする。

キーワード：食育, デザイン, 幼児, 遊び, 学び

1. 目的

食育とは、生きる上での基本であって、知育・德育・体育の基礎となるものであり、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる人間を育てることである。2005年に農林水産省により制定された食育基本法により、全国的にも様々な教育機関で食育活動が推進されてきた。この内容を調べてみたところ、幼稚園や保育園での活動として食材がどのように育ち、口に運ばれるのかというプロセスを扱う事例が少ないことがわかった。本研究は食育活動が最も効果的な幼児を対象に、食に対して興味を持つアプローチとして「食材のプロセス」を取り扱い、豊かな生活への貢献を目的とする。

2. 当初の方向性

研究発足当時は調味料に焦点を当て、原材料や製造方法などを取り扱うことを考えていたが、近隣の町田サレジオ幼稚園の副園長にヒアリングを行ったところ、対象とする幼児は自分で味をつけたり、調理するという経験が少ない為、調味料という理解が浅く、興味を示さないので、と分かった。食育活動は幼児を対象にすることが最も効果的である。本研究の軸は、幼児に食への理解を推進することだ。従って、コンテンツを調味料から変更し、興味を持ちやすいよう、子どもの好きなおかずや料理など身近なものを取り扱うように方向性を変更した。

3. 調査内容

本研究を進めるにあたって以下の調査を行った。

- (1) 町田サレジオ幼稚園の保護者に子どもの食に関するアンケート
- (2) 町田サレジオ幼稚園の副園長、調理担当者に諸々をヒアリング
- (3) 文献による現状調査

これらの調査により、次のことが判明した。

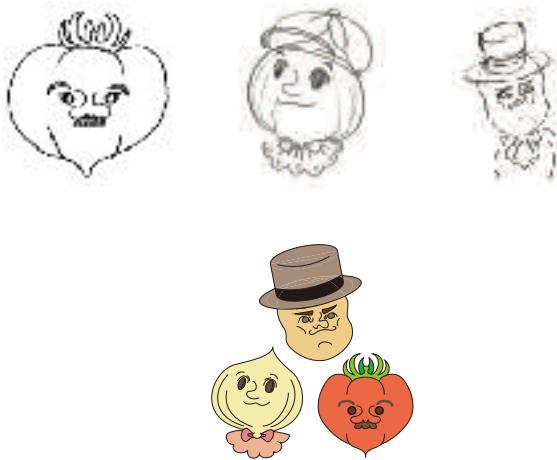
- a, 幼児は与えられたものを食べる
- b, 味覚が安定し好き嫌いがわかるのは5～6歳
- c, 幼児はイラストやキャラクターが好き
- d, 現在の幼児が好む食品、食材
- e, 幼児は実体験により理解を深める
- f, 幼児に食べ物を与える人の影響で好き嫌いが定まる

これらの結果から次のように設定する。

- ・ターゲット
味覚が安定し自分の意志を伝え始める5～6歳、
小学校入学前の子ども
- ・手を動かして遊びながら学ぶツール
- ・幼児とその保護者で一緒に楽しむツール
- ・イラストやキャラクターを使用して親しみやすくする

3. コンセプト及びアイデア展開

コンセプト「たのしく学ぶ 食べ物のプロセス」
調査のアンケートにより、子どもの好物がわかつたので、そのなかから複数の食材からなる食品を選別し、それぞれの食材がどこでどのような姿形で育ち、調理され、食品になるのか、というプロセスを取り扱う。例えばカレーならば、人参、ジャガイモ、肉などに分類し野菜は畑で育つ状態から、肉は家畜の状態となる。それらを幼児にわかりやすく表現する必要があるためイラストやキャラクターを用いる。



4. 最終提案物

子どもが遊びながら学べるツールを考える。また、幼少期からの特別な体験が理解を深めるのに効果的だとわかつたので、実際に食品を作るワークショップなども検討している。

1、双六

食材の進化に点数をつけて高得点を狙いゴールをめざす

2、アニメーション

野菜・肉・魚などの進化をGIFアニメで表現する

3、ワークショップ

実際に手を動かし特別な体験をする。

これらの条件をもとに、幼稚園にて、年長を対象に検証をして最終提案へ進めていく。

10月下旬 サレジオ幼稚園にてアイデア検討

11月中旬 試作検討

5. 参考文献

内閣府、食育白書 2009、2018.10.10

農林水産省HP、<http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/>、2018.10.10

厚生労働省HP、<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2004/02/s0219-3.html>、2018.10.22

KILIN HP、<https://www.kirin.co.jp/csv/food-life/think/episode/vol03-1.html>、2018.10.22

川西真柚子、山崎和彦：旬を楽しむための食育デザインの提案、2013、2018.10.22